

第2回延岡西臼杵地域医療構想調整会議 議事録

1 日 時

平成29年10月20日（金）午後2時から午後2時40分まで

2 場 所

延岡保健所 2階 講堂 （延岡市大貫町1丁目2840番地）

3 出席者（計23名）

(1) 関係者（計15名）

出席者名簿のとおり

(2) 事務局（計7名）

- ・延岡保健所 所長、次長(総括)、総務企画課長、健康づくり課長
- ・高千穂保健所 次長(総括)、総務企画課長、総務企画課主事

(3) その他（計1名）

●●病院 事務長

4 議 事

- ・【報告1】 第1回ワーキンググループについて
- ・【議題1】 地域医療介護総合確保基金事業について
- ・【議題2】 調整会議の今後のスケジュールについて

5 会議経過及び主な意見等

(1) 延岡保健所長 挨拶

(2) 会議非公開の決定

審議内容が、個別の医療機関の経営に関する情報に該当するため、延岡西臼杵地域医療構想調整会議運営要綱（以下「要綱」という。）第2条第2項の規定により、非公開とした。

(3) 議長（一般社団法人延岡市医師会 吉田会長）挨拶

(4) 議事録署名人選出

要綱第8条第2項の規定により、議事録署名人として、全日本病院協会宮崎県支部の牧野理事と延岡市健康福祉部の佐藤部長を選任した。

(5) 【報告1】 第1回ワーキンググループについて

平成29年9月29日に開催された第1回ワーキンググループについて、延岡保健所総務企画課長が資料1のとおり報告を行った。

(質疑応答)

なし。

(6) 【議題 1】 地域医療介護総合確保基金事業について

平成 29 年度地域医療介護総合確保基金事業について、延岡西臼杵地区では、●●病院から基金活用の提案があったため、事業内容が宮崎県地域医療構想に適合するものかどうか審議を行った。

まず、●●病院事務長から事業の概要等について説明があった後、質疑応答が行われた。

その結果、「●●病院の事業内容は、宮崎県地域医療構想に適合するものである。」と認められた。

(質疑応答)

関係者	<p>会議の進め方の話だが、個別の基金事業の話をもうするのか。 というのは、第 1 回ワーキンググループで医療機関に対して「各施設において自分たちの医療機能を考えてくれ。」と話したのが、ついこの間ですよ。</p> <p>それを受けて、医療機関がいろいろ考えて「こういう風に（病棟等を）変換したい。」という案がこれから揃うと思う。案が揃ってからそれを同時に並列的に審議していくのがより公平ではないか。</p>
議長	<p>おっしゃるとおりだが、今回議論する案件は、平成 28 年度に県が募集をかけ、病院から手が挙げた案件で、厚生労働省から基金の内示が出ているものである。</p>
関係者	<p>ということは、ここで審議する意味はないのではないか。</p>
議長	<p>事業内容が、宮崎県地域医療構想からよっぽど外れていない限り否定はしにくい状況だが、とりあえず審議するという形になる。 今回議論する案件が、ワーキンググループができる前に提案されたものなので、少し議論しにくいところはある。</p> <p>ただ、平成 30 年度の基金事業は、県が「意向調査」という形をとっており、提案があった事業を調整会議にかけて妥当かどうかある程度判断した上で、県に申請という手続になっている。</p> <p>そのため、平成 30 年度の基金事業に関しては、提案された事業を事前に調整会議で審査するという形になると思う。</p>
関係者	<p>医師会としては、問題ないのか。</p>
議長	<p>以前からこの基金事業については「先に手を上げた方が勝ちじゃないか」という話があったが、この前のワーキンググループで調整会議のしくみや基金の予算等について、対象医療機関に説明を行ったので、今度からこの方法で議論していきたいと思っている。</p>

関係者	すでに決まっている案件であり、将来的に回復期病棟が不足するということなので基本的に合意するという方向で如何かなと思っています。
議長	認めてよろしいでしょうか。 〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
議長	適合すると認めたいと思います。

(7) 【議題2】調整会議の今後のスケジュールについて

延岡保健所総務企画課長が、資料2のとおり今後のスケジュールについて説明を行った。

(主なスケジュール)

- ・調整会議は、平成30年度までに審議を終了することとしたい。
- ・平成29年度の調整会議は、今回を含めて3回、平成30年度は4回開催予定。
- ・平成29年度のワーキンググループは、2回目を12月に、3回目を平成30年2月に開催する方向で検討中。

(質疑応答)

なし

以 上